



グリーンムーバーレックス1011号

第108期 報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

 **青森鉄道株式会社**

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社第108期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

平成29年6月

代表取締役社長

原田昌夫

旅客輸送における設備の修繕をはじめとする安全確保のより一層の強化や、顧客へのサービス向上を図り、各事業とも積極的な営業活動を展開し、収益の確保に努めました。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新興国景気の下振れやイギリスのEU離脱、アメリカ新大統領の政策動向など海外経済に対するリスクはあるものの、政府・日本銀行の各種経済政策や金融緩和を背景に設備投資や雇用環境が改善し、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、旅客輸送における設備の修繕をはじめとする安全確保のより一層の強化や、顧客へのサービス向上を図り、各事業とも積極的な営業活動を展開して収益の確保に努めました。

鉄軌道事業では導入を進めている超低床車両

1000形を2両増備し、自動車事業では、ハイブリッドバスやノンステップバスの代替を継続的に実施して、低公害化とバリアフリー化に積極的に取り組んだほか、利用が増えている外国人観光客向けに、広島県バス協会や県内のバス事業者と共同で広島県内のバスや路面電車が乗り放題となる「Visit Hiroshima Tourist Pass」の販売を始めました。また、広島おりづるタワーと宮島口に交通案内所を設置するなど、公共交通を分かりやすく利用できる施策を行いました。

運輸業および建設業が増収となったものの、流通業、不動産業およびレジャー・サービス業が減収となりました。不動産販売業では、前連結会計年度に「西風新都グリーンフォートそらの」の商業用地および業務用地や五日市分譲マンションの販売があったのに対し、当連結会計年度ではそのような大型物件の販売がな

かったことから、減収となりました。

当連結会計年度の営業収益は、運輸業および建設業が増収となったものの、流通業、不動産業およびレジャー・サービス業が減収となり、前連結会計年度と比較して10.2%、4,813百万円減少し、42,231百万円となりました。利益につきましては、営業利益は、前連結会計年度と比較して72.9%、1,836百万円減少し、684百万円となり、経常利益は67.0%、1,541百万円減少し、760百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、29.3%、539百万円減少し、1,301百万円となりました。

様々な経営課題に取り組むとともに、経営環境の変化への迅速な対応と安定した収益構造の構築に努め、安全性の確保を前提としたうえで、収益性の向上に努めてまいります。

今後の経済見通しにつきましては、政府の経済政策に対する期待感が強いものの、デフレ脱却や景気回復が国民の実体経済に反映されるかどうか先行きが不透明な状況であり、当社グループを取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続くものと思われま

す。鉄軌道事業におきましては、広島駅前大橋ルート

の整備や、超低床電車の継続的導入、駅・電停の整備、情報提供システムの整備等、路面電車のLRT化に向けて引き続き取り組んでまいります。自動車事業に

おきましては、バリアフリーや環境に配慮した車両の導入を引き続き推進してまいります。また、広島駅前広場の再整備等公共交通インフラの整備にあわせた新たな需要への対応や、バス路線の再編による利便性の確保に向けた施策を検討してまいります。

不動産業におきましては、商業用地、業務用地を完売した石内東地区開発事業「西風新都グリーンフォートそらの」につきまして、住宅用地の分譲を引き続き行ってまいります。また、新ビル「スタートラム広島」の新築工事を平成27年12月に着手した八丁堀地区における再開発事業「(仮称)広島八丁堀共同プロジェクト」や、広島大学本部跡地の活用策「ひろしまの『知の拠点』再生プロジェクト」などの新規プロジェクトを推進し、活力ある街づくりに尽力してまいります。

当社グループといたしましては、様々な経営課題に取り組むとともに、経営環境の変化への迅速な対応と安定した収益構造の構築に努め、安全性の確保を前提としたうえで、個々のお客様のニーズに応じたサービスや商品の提供による収益の獲得と、厳しい計数管理に基づく経費の削減などに取り組み、収益性の向上に努めてまいります。また、広島市が事業主体である電車の広島駅前大橋ルート

の整備や、広島県と廿日市市が事業主体である宮島口整備事業といった事業を関係機関と協力しながら推進してまいります。

運輸部門



備北交通(株)

平成28年7月から、三次市の「広島空港連絡バス運行社会実験」の一環として、三次市内と広島空港間を直通で結ぶ空港連絡バスを、当社が運行いたしました。県北と空港をつなぐ便がなかったことから、三次市民はもとより県北から帰省・出張される方々から大いに期待され、平成29年度も運行が継続されることになりました。

観光、ビジネス等で県北へお越しの際や、県北から広島空港を経由して各方面へのアクセス手段としても、引き続きご利用いただきたいと考えております。

エイチ・ディー西広島(株)

平成28年10月から「西風新都グリーンフォートそらの」と隣接する五月が丘団地を結ぶ「そらのシャトルバス」の運行を開始しました。「そらの」にお住まいの方に五月が丘団地内の既設バス路線の停留所や生活関連施設などへの移動手段としてご利用いただいております。

また、乗合バスにおいては7月に新造車両3台を導入し、お客様の快適性向上を図りました。

当社の特色である地元公民館との共催事業も引き続き開催し、地域貢献活動にも力を注ぎました。



芸陽バス(株)

平成28年度の輸送の安全に関する目標では、有責事故の判定基準に基づく目標件数を下回ることができました。今後も個別の業務に真摯に取り組み、改善を反復することで、安全運転に対する技術や意識を高め、さらなる輸送の安全性と快適性の向上に努めてまいります。



平成28年度導入新車



広島空港手荷物積み込みサービス

広電エアサポート(株)

平成28年12月16日から、広島空港発のリムジンバスポーター業務を受託しました。

広島空港から広島駅新幹線口、広島バスセンター、呉方面行のトランクルームへの手荷物積み込み・案内業務を行っております。常時1名3交代制で、1日約80便の対応をしております。

広島観光開発(株)

宮島ロープウエーでは、厳島神社世界遺産登録20周年を記念し、スタンプラリーなど各種イベントを実施して、宮島弥山をPRするとともに、旅客誘致に努めました。また、紅葉谷駅までの無料送迎バスの車両代替、駅施設の改装工事、および紅葉谷線の客車2両をオーストリア製の新しいデザインの客車に代替し、施設等の改善とともに、安全確保の徹底と快適性の向上を図りました。



オーストリア製新型客車

グループ情報



宮島松大汽船

宮島松大汽船(株)

厳島港宮島口地区港湾整備事業の進捗に伴い、平成28年12月から、旅客便の発着は統合新棧橋へ暫定移転いたしました。

また、好評をいただいている宮島ロープウエーや、島内一部店舗のお買物券と当社の往復乗船券がセットになったチケットについて、積極的な広告宣伝を行い、お客様への周知の拡大を図りました。

建設部門

広電建設(株)

土木部、建築部および不動産住宅部では、砂防堰堤・学校関係・公営住宅関係などの公共工事や民間工事を多数受注しております。平成28年度は、「医療法人社団大谷会 島の病院おおたに」(江田島市)などを竣工いたしました。



島の病院おおたに(江田島市)

流通部門



千田店青果売場

(株)広電ストア

平成29年1月、千田店の青果部門および洋日配部門を中心に改装を実施いたしました。

新規什器を導入しお買い物しやすくするとともに観葉植物を配置するなど、鮮度感あふれる売り場に仕上がっております。お客様からの評価も上々で、ご好評いただいております。

(株)広電宮島ガーデン

平成29年3月からスマートフォンを「銘菓 宮島膝栗毛」のARマーカにかざせば、「続膝栗毛 宮島参詣(本)」や菓子の紹介動画(約1分間)が閲覧できるサービスを開始しました。これは、最新のIT技術を活用し、県立広島大学宮島学センターの協力を得て実現したもので、今後、宮島の観光振興やプライベートブランド商品の販売促進につなげたいと考えております。



箱裏のARマーカを読み取ると映像が流れます

グループ情報

レジャー・サービス部門

(株)ホテルニューヒロデン

このたび宿泊部門におきましては、JALパックアワード(2015) Web販売部門にて「銀賞」を、また、楽天トラベルアワード2016においては「楽パック賞」を受賞いたしました。このことにつきましては、スタッフ一同大変光栄に、また嬉しく思っております。今後もこの賞を励みに「心をこめたおもてなし」に一生懸命努力してまいります。



JALパックアワード(右)、楽天トラベルアワード(左)の盾を持つスタッフ



広電ポウル卓球場

(株)ヒロデンプラザ

ボウリング部門では、平成28年11月より旧ゲームコーナー跡地に、卓球場・ビリヤード場をオープンいたしました。

リオデジャネイロオリンピック等での日本勢の活躍により、卓球が静かなブームとなっております。土曜・日曜を中心に家族・友人等で卓球を楽しまれる方が増えております。



優勝の河村雅之プロを囲んで

(株)グリーンバース・ヒロデン

平成28年8月3日・4日の2日間、広島電鉄と当社の主催で『第1回広電オープンゴルフ選手権』を開催いたしました。本大会はプロアマ競技で、プロ80名、アマチュア80名の計160名が参加し熱戦が繰り広げられました。記念すべき第1回大会は、河村雅之プロがトータル16アンダーパーで見事に優勝されました。

また、9月14日・15日に当倶楽部で中国ゴルフ連盟主催の『第9回中国女子ミッドアマチュアゴルフ選手権競技』が開催されました。

ひろでん中国新聞旅行(株)

広島空港から直行チャーター便で行くツアーを企画し、多くのお客様にご参加いただきました。3月には「与那国島と宮古島3日間」をシリーズ化し、定期便ではなかなか行くことができない日本最西端の島である与那国島や沖縄屈指のリゾート地である宮古島をはじめとする6島を周遊するツアーで、手付かずの大自然と絶景をお楽しみいただきました。

今後も「ずっと行ってみたかった地」へ行きたくなる広島発着の魅力的な旅をご提案してまいります。



宮古島・東平安名崎

営業の概況



超低床車両1000形

超低床車両の導入

平成25年から超低床車両1000形の導入を続けておりますが、平成28年度も2両を追加導入いたしました。新型車両の導入によって各路線での超低床車両の運行回数を増やし、お客様にバリアフリー車両へ乗車していただく機会が増えるように努めました。

宮島線駅施設の改良

宮島線「古江駅」の施設改修工事を行いました。下りホーム西側出入口が階段状になっていたため、車いす等でも利用しやすいようにスロープ化工事を行いました。どなたでも利用しやすい環境を整えるため、今後も施設の改良に取り組んでまいります。



古江駅スロープ



宮島口ツーリストインフォメーションセンター

観光案内所の開設

平成29年3月、宮島口に「宮島口ツーリストインフォメーションセンター」を開設いたしました。近年増加傾向にある訪日外国人旅行者を主な対象として、交通・観光情報の提供の他、乗車券の販売など各種旅行サービスを提供いたします。多様なサービスを提供することで、旅行者の地域内での滞在時間や消費の拡大を促し、宮島・広島地区の活性化を促すことが期待されています。



ハイブリッドノンステップバス

ハイブリッドバスの導入

環境保全に配慮した車両への転換を目指してハイブリッドバスを積極的に導入しており、平成28年度までに計21両を導入いたしました。今後も車両代替にあたってはノンステップバスを中心に低床車両の導入を進め、今後も人と環境にやさしい取り組みを推進してまいります。

スタートラム広島

当社と日本生命保険相互会社が共同プロジェクトとして進めている複合オフィスビル「スタートラム広島」は、平成27年12月から建物工事に着手し、平成29年11月竣工を目指して鋭意工事が進められております。八丁堀地区を代表する規模のオフィスビルを目指して、安全かつ堅実に施工できるよう進めてまいります。



「スタートラム広島」
建築工事の様子(平成29年3月現在)



分譲タワーマンション地鎮祭

ひろしまの「知の拠点」再生プロジェクト

平成29年3月、ひろしまの「知の拠点」再生プロジェクト分譲マンション新築工事の地鎮祭が執り行われました。

プロジェクトの目玉として、三菱地所レジデンス(株)、三井不動産レジデンシャル(株)、菱重プロパティーズ(株)、(株)トータテ都市開発と当社の5社にて地上53階、総戸数665戸の分譲タワーマンションを建設します。平成29年4月初旬に着工、平成32年8月末に完成する予定です。

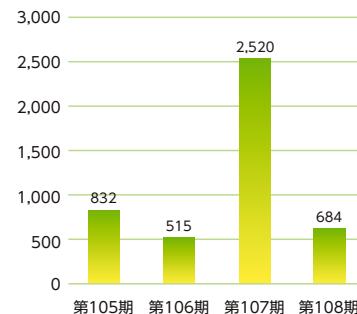
連結業績ハイライト

		第105期 平成26年3月期	第106期 平成27年3月期	第107期 平成28年3月期	第108期 平成29年3月期
売上高	(百万円)	39,717	46,795	47,044	42,231
営業利益	(百万円)	832	515	2,520	684
経常利益	(百万円)	598	323	2,301	760
親会社株主に帰属する 当期純利益	(百万円)	1,435	1,062	1,841	1,301
1株当たり当期純利益	(円)	23.67	17.52	30.36	21.46
総資産	(百万円)	93,537	93,352	89,092	88,980
純資産	(百万円)	35,898	39,422	40,265	41,649
自己資本比率	(%)	37.5	41.3	44.2	45.7
1株当たり純資産	(円)	578.86	636.01	648.77	670.14

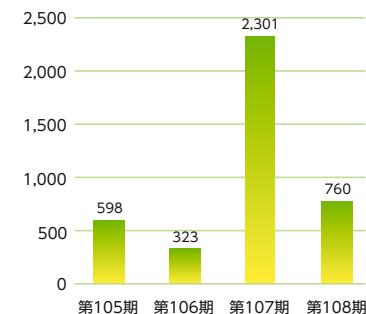
売上高 (単位：百万円)



営業利益 (単位：百万円)



経常利益 (単位：百万円)



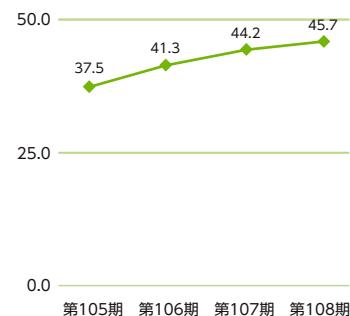
親会社株主に帰属する
当期純利益 (単位：百万円)



総資産／純資産 (単位：百万円)



自己資本比率 (単位：%)



連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表 平成29年3月31日現在(単位：百万円)

科 目	金 額
資産の部	
流動資産	14,392
現金及び預金	5,501
受取手形及び買掛金	1,833
販売土地及び建物	4,213
未成工事支出金	34
商品及び製品	164
原材料及び貯蔵品	525
繰延税金資産	494
その他	1,631
貸倒引当金	△ 6
固定資産	74,587
有形固定資産	66,796
建物及び構築物	15,057
機械装置及び運搬具	5,681
土地	42,863
建設仮勘定	2,143
その他	1,050
無形固定資産	637
借地権	27
その他	609
投資その他の資産	7,153
投資有価証券	4,289
長期貸付金	17
繰延税金資産	326
退職給付に係る資産	1,948
その他	636
貸倒引当金	△ 66
資産合計	88,980

科 目	金 額
負債の部	
流動負債	22,368
支払手形及び買掛金	1,673
短期借入金	11,443
1年内償還予定の社債	534
未払金	2,427
未払法人税等	271
未払消費税等	276
繰延税金負債	3
未払費用	841
預り金	1,238
賞与引当金	1,165
役員賞与引当金	25
その他	2,467
固定負債	24,963
社債	725
長期借入金	7,297
繰延税金負債	958
再評価に係る繰延税金負債	10,008
退職給付に係る負債	1,306
その他	4,666
負債合計	47,331
純資産の部	
株主資本	16,183
資本金	2,335
資本剰余金	1,996
利益剰余金	11,945
自己株式	△ 93
その他の包括利益累計額	24,464
その他有価証券評価差額金	1,436
土地再評価差額金	22,514
退職給付に係る調整累計額	513
非支配株主持分	1,001
純資産合計	41,649
負債純資産合計	88,980

連結損益計算書 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで (単位：百万円)

科 目	金 額
営業収益	42,231
運輸業等営業費及び売上原価	33,666
販売費及び一般管理費	7,880
営業利益	684
営業外収益	459
営業外費用	383
経常利益	760
特別利益	2,507
特別損失	1,237
税金等調整前当期純利益	2,030
法人税、住民税及び事業税	660
法人税等調整額	△56
当期純利益	1,426
非支配株主に帰属する当期純利益	124
親会社株主に帰属する当期純利益	1,301

連結株主資本等の変動額一覧 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで (単位：百万円)

	当期首残高	当期変動額	当期末残高
株主資本			
資本金	2,335	－	2,335
資本剰余金	1,976	19	1,996
利益剰余金	10,947	998	11,945
自己株式	△92	△1	△93
株主資本合計	15,166	1,016	16,183
その他の包括利益累計額			
その他有価証券評価差額金	1,184	252	1,436
土地再評価差額金	22,514	－	22,514
退職給付に係る調整累計額	487	25	513
その他の包括利益累計額合計	24,186	277	24,464
非支配株主持分	911	89	1,001
純資産合計	40,265	1,384	41,649

注) 当一覧表は決算発表で開示された「連結株主資本等変動計算書」を基に参考情報として読みやすく配置を整理したものです。

連結キャッシュフロー計算書 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで (単位：百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,936
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,619
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,467
現金及び現金同等物の増減額	△150
現金及び現金同等物の期首残高	4,981
現金及び現金同等物の期末残高	4,831

グループ会社の状況 (平成29年3月31日)

名 称	資本金 (百万円)	出資比率 (%)	主要な事業内容
(株)広電ストア	96	100.0	流通業
広電建設(株)	50	100.0	土木、建築、住宅、不動産業
広電エアサポート(株)	98	100.0 (25.0)	航空運送代理業、保険代理店業
備北交通(株)	45	89.8	バス事業、旅行代理業
(株)広電宮島ガーデン	50	100.0	レストラン、売店
宮島松大汽船(株)	60	60.0	海上運送業
(株)ヒロデンプラザ	40	100.0	ボウリング、ゴルフ練習場
(株)グリーンバズ・ヒロデン	90	100.0	ゴルフ場経営
(株)ホテルニューヒロデン	210	100.0	ホテル業
エイチ・ディー西広島(株)	30	100.0	バス事業
広島観光開発(株)	125	57.8 (13.3)	索道業
(株)交通会館	156	63.7	不動産賃貸業
芸陽バス(株)	100	93.2	バス事業、旅行業、不動産業、保険代理業
大垂工業(株)	241	20.1	電気工事、電気通信工事、鋼構造物工事等
ひろでん中国新聞旅行(株)	100	50.0 (4.6)	旅行業
広島観光汽船(株)	40	—	海上運送業
(有)やまとタクシー	5	—	タクシー業
(有)広電商事	3	—	酒類の販売

注) 出資比率は、保有株式数を発行株式数で除したものであり、()内は間接保有比率で内数であります。

個別財務諸表(要旨)

貸借対照表 平成29年3月31日現在 (単位：百万円)

科目	金額
資産の部	
流動資産	9,557
現金及び預金	2,691
未収運賃	220
未収金	1,468
未収収益	35
短期貸付金	8
販売土地及び建物	4,130
貯蔵品	468
前払金	5
前払費用	7
繰延税金資産	364
その他の流動資産	157
貸倒引当金	△ 0
固定資産	66,181
鉄・軌道事業固定資産	13,066
自動車事業固定資産	13,105
不動産事業固定資産	29,822
各事業関連固定資産	1,968
建設仮勘定	1,896
投資その他の資産	6,321
関係会社株式	1,089
投資有価証券	3,838
長期貸付金	4,880
前払年金費用	1,157
その他の投資等	961
貸倒引当金	△ 5,605
資産合計	75,738

科目	金額
負債の部	
流動負債	19,430
短期借入金	11,615
1年内償還予定の社債	352
未払金	2,813
未払費用	595
未払法人税等	67
未払消費税等	174
預り連絡運賃	115
預り金	675
前受運賃	308
前受金	1,522
前受収益	131
賞与引当金	929
その他の流動負債	129
固定負債	21,967
社債	725
長期借入金	6,855
繰延税金負債	724
再評価に係る繰延税金負債	10,008
退職給付引当金	483
債務保証損失引当金	800
関係会社事業損失引当金	656
その他の固定負債	1,713
負債合計	41,397
純資産の部	
株主資本	10,406
資本金	2,335
資本剰余金	1,975
利益剰余金	6,148
自己株式	△ 53
評価・換算差額等	23,934
その他有価証券評価差額金	1,419
土地再評価差額金	22,514
純資産合計	34,341
負債純資産合計	75,738

損益計算書 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで (単位：百万円)

科 目	金 額	
鉄・軌道事業	営業収益	6,441
	営業費	6,867
	営業損失	425
自動車事業	営業収益	10,755
	営業費	11,172
	営業損失	416
不動産事業	営業収益	5,154
	営業費	3,724
	営業利益	1,429
全事業営業収益	22,351	
全事業営業費	21,764	
全事業営業利益	587	
営業外収益	657	
営業外費用	568	
経常利益	676	
特別利益	1,814	
特別損失	1,271	
税引前当期純利益	1,219	
法人税、住民税及び事業税	335	
法人税等調整額	22	
当期純利益	861	

株主資本等の変動額一覧 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位：百万円)

	当期首残高	当期変動額	当期末残高
株主資本			
資本金	2,335	—	2,335
資本剰余金	1,975	—	1,975
利益剰余金	5,591	557	6,148
(剰余金の配当)		※△ 303	
(当期純利益)		※861	
自己株式	△ 52	△ 1	△ 53
株主資本合計	9,849	556	10,406
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	1,170	249	1,419
土地再評価差額金	22,514	—	22,514
評価・換算差額等合計	23,685	249	23,934
純資産合計	33,535	806	34,341

注) 1. 当一覧表は決算発表で開示された「株主資本等変動計算書」を基に参考情報として読みやすく配置を整理したものです。
2. ※は利益剰余金の内数です。

株主優待制度

対象株主様：毎年3月31日および9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主様

贈呈基準および贈呈内容

株主優待乗車券・乗車証(年2回)

所有株式数	種別	枚数
1,000株以上	電車全線乗車券	株式数に応じ 4~24枚
12,000株以上	電車全線・広島都心部エリア バス乗車証(1名記名式)	1枚
24,000株以上	バス全線乗車証または 電車全線・広島都心部エリア バス乗車証(1名記名式)	1枚
	電車全線乗車券	12枚
36,000株以上	電車・バス全線乗車証 (1名記名式)	1枚
150,000株以上	電車・バス全線乗車証 (1名記名式) ※2枚目以降持参人式選択可	2枚
300,000株以上		3枚

広電グループ諸施設ご優待割引券(年2回)

1,000株以上	広電グループ諸施設 ご優待割引券	1セット
----------	---------------------	------

自社指定商品(年2回)

1,000株以上	広島県産品など	1セット
----------	---------	------

交付時期および有効期限

	3月31日現在の株主様		9月30日現在の株主様	
	交付(発送)時期	有効期間	交付(発送)時期	有効期間
株主優待乗車券	5月末	—	11月末	—
株主優待乗車証		11/30まで		5/31まで
広電グループ諸施設 ご優待割引券	6月末	12/31まで	12月末	6/30まで
自社指定商品	7月	—	1月	—

※各優待券はお手元に届いた日からご利用いただけます。

株主優待制度のお問い合わせ先：〒730-8610 広島市中区東千田町二丁目9番29号 広電本社ビル4階
広島電鉄株式会社 総務課(株式担当) ☎(082) 242-3522

電車全線乗車券の使用方法について

1. どなたでもご使用いただけます。
2. 1回のご乗車につき1枚必要です。
3. 乗り継ぎには2枚必要です。

乗車証の使用について

1. 記名ご本人以外の方はご使用いただけません。
2. 記名者は、原則株主様となります。
ただし、株主様をご使用されない場合は、株主様と同居する配偶者および2親等以内の親族、非同居の直系卑属(子または孫)の範囲で記名者を変更し、ご使用いただけます。
3. 使用者を変更する場合は、戸籍謄本、住民票などの証明書等で確認させていただくことがあります。

バス全線乗車証、電車・バス全線乗車証の通用範囲について

1. 広島空港リムジンバス、呉広島空港線、米子線、三井アウトレットパーク倉敷線はご使用いただけません。
2. 三次・庄原・東城線、松江線、浜田線、広島呉線(クレアライン)はご使用いただけます。ただし、広電便以外はご使用いただけません。
3. 当社が定めるシャトルバス・臨時便等にはご使用いただけません。詳しくは当社株式担当までお問い合わせください。

広電グループ諸施設ご優待割引券について

マダムジョイ・広電建設・もみじ本陣・広電ボウル・広電ゴルフ・グリーンバースゴルフ倶楽部・ひろでん中国新聞旅行・ホテルニューヒロデン・宮島ロープウエーの優待割引券が1セットになっています。

自社指定商品について

1. 当社で指定した商品をご送付しています。最近では、音戸ちりめん、広島県産のお米などをご送付させていただいております。
2. 株主様が不在等で当社に返送された場合、送付の日から2週間以上経過したものを処分させていただくことがあります。

会社の概要

会社概要 (平成29年3月31日現在)

設立	昭和17年4月10日
資本金	23億3,562万5千円
本社所在地	広島市中区東千田町二丁目9番29号
従業員数	1,706名
主要事業	1. 鉄・軌道事業 2. 自動車事業 3. 不動産事業
営業軒	1. 鉄・軌道 35.1軒 2. 自動車 1,430.0軒
車両数	1. 鉄・軌道 297両 2. 自動車 553両

取締役および監査役 (平成29年6月29日現在)

代表取締役社長	椋田 昌夫
常務取締役	迫 孝治
常務取締役	倉本 勇治
取締役	藤元 秀樹
取締役	沼田 卓壮
取締役	仮井 康裕
取締役	平町 隆典
取締役	横田 好明
取締役	瀬崎 敏正
取締役	岡田 茂
取締役	田村 興造
取締役	秦 清
常勤監査役	尾崎 宏明
監査役	笠井 久雄
監査役	坂井 康成

- 注) 1. 取締役 田村興造、秦 清は、社外取締役であります。
2. 監査役 笠井久雄、坂井康成は、社外監査役であります。

執行役員 (平成29年6月29日現在)

執行役員	玉田 和
執行役員	山田 康敬

株式の状況

基本データ (平成29年3月31日現在)

発行可能株式総数	2億4,000万株
発行済株式の総数	6,089万1千株
1単元の株式の数	1,000株
株主数	4,164名

所有者別分布状況 (平成29年3月31日現在)

区分	株主数(人)	比率(%)
金融機関	22	0.53
金融商品取引業者	10	0.24
その他の法人	57	1.37
外国法人	10	0.24
個人・その他	4,064	97.60
自己名義株式	1	0.02

所有株式数別分布状況 (平成29年3月31日現在)

区分	株式数(千株)	比率(%)
金融機関	11,200	18.39
金融商品取引業者	94	0.16
その他の法人	11,678	19.18
外国法人等	96	0.16
個人・その他	37,685	61.89
自己名義株式	135	0.22

大株主の状況 (平成29年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
広島日野自動車株式会社	2,341	3.85
株式会社広島銀行	2,088	3.43
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,755	2.88
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 五洋建設口	1,515	2.49
出光興産株式会社	1,500	2.46
株式会社鴻治組	1,403	2.30
広島ガス株式会社	1,236	2.03
三井住友海上火災保険株式会社	870	1.43
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	840	1.38
野村信託銀行株式会社 退職給付信託三菱UFJ信託銀行口	750	1.23

注) 株式会社広島銀行の持株数には、株式会社広島銀行が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式1,605千株(持株比率2.64%)を含んでおります。

株主メモ



事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当の基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主総会の基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告した日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎0120-094-777(フリーダイヤル)

手続きのお申し出先について

1. 未払配当金の支払のお申し出先

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

2. 住所変更、単元未満株式の買取・買増、特別口座所有株式の振替等のお申し出先

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

公告の方法

電子公告により当社ホームページ

<http://www.hiroden.co.jp/> に掲載いたします。

ただし、事故、その他のやむを得ない事由により電子公告することができないときは、中国新聞に掲載いたします。

お知らせ

単元株式数の変更および株式併合について

平成29年9月1日をもって、単元株式数を1,000株から100株へ変更するとともに、同年8月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主様の所有株主数について、2株につき1株の割合で併合いたします。

株主優待制度の変更

平成29年9月1日の単元株式数の変更および株式併合の実施にともない、同年9月30日現在の株主様への優待発送分(11月下旬)予定から、株主優待制度の一部を変更いたします。なお、現在株主優待を交付している株主様への優待内容に変更はございません。

株主懇談コーナーについて

平成29年5月30日、31日に株主懇談コーナーを開催いたしました。

次回の開催予定は次のとおりです。

日時 平成29年11月28日(火)、29日(水)
10:00~12:00、13:00~15:00

場所 広島市中区東千田町二丁目9番29号
広電本社ビル3階会議室